

---

# みさき

長月 夕子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

みさき

### 【Nコード】

N4890E

### 【作者名】

長月 夕子

### 【あらすじ】

一部実話を、フィクションを交えてお送りいたします。

うらぶれた町の小さな写真館で、スタンドの明かりを頼りに記念写真の修正をしていた俺は、伝手でその一週間後、二月の千葉は海岸、吹きすさぶ北風に手をやられて、フィルムをカメラに入れるのもままならぬような一桁の気温をもとせず、素肌にキャミソールドレス、素足にミュールのファッションモデルを囲むスタッフの一員となっていた。早くフィルム入れると急かされるほど手元は怪しく、視線に顔を上げれば、件のモデルが、唇の色一つ変えず鳥肌すら立てず平然と俺を見ていた。それが俺の初めて知る、芸能界というやつだった。

毎日をきちんと精算しながら過ごしていた生活は一変した。夏は冬で冬は夏で、一日は三十時間にも四十時間にもなった。朝焼けなのか夕暮れなのかいぶかしみながら空を見上げ、家に帰れば先ほどまで一緒にいたタレントが、テレビから微笑む。夢か現か戸惑いながらまた仕事に出かける日々の中で俺は、俺という人間をすり減らし、そこに新しく「芸能界」という特殊な液体を注いでも、なじむことが出来なかった。水と油のように、いくら注いでもいくら混ぜ合わせても、ざらりとした違和感が俺の視界を覆っていた。まるでとても長い映画を見ているかのように。

日差しに目眩がした。五月とはいえ、沖縄の気温は十分夏であった。今年の夏を彩る新しい服を肌を滑らせ、モデル達は砂浜を踊るように歩く。シャッター音が響く。俺は次から次へフィルムを詰め替え番号を記し、露出の変化に気を配る。

人の気配を感じて振り向くと、真後ろに新人のモデルが立っていた。日傘を差して目の撮影を見ている。その目に、言いよりの無い「違和感」が浮かんでいた。俺の目の中の消そうとしても消せないそ

れと、同じ色をしていた。

「暑いですね」

無意識にその瞳に話し掛ける。

彼女は少し驚いて、それでもすつと力が抜けるような笑みを浮かべ「暑いですね。本当に」と答えた顔は多分、今日撮影した何百というカットの、何処にも存在しない。

写真館の小さな窓から空を見上げる。どうにも出来ない違和感を、俺は飲み下すことが出来なかった。それでもこんなに青い空の日は、彼女のことを思い出す。彼女はまだあの違和感の中にいるだろうか。それとも、すっかり芸能界の人になっているのだろうか。俺がそれを知ることは永久に無い。今ではテレビの向こうから女優の顔をして微笑む彼女の名は、伊東美咲。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4890e/>

---

みさき

2011年1月6日14時13分発行